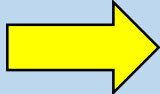
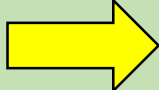
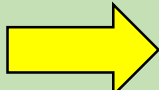


除排雪作業の進捗状況（2月17日現在）

主な幹線道路 及びバス路線	対象延長660kmのうち 49% (2月10日時点)  <u>99%</u>
その他幹線道路	対象延長719kmのうち <u>70%</u>
生活道路 (パートナーシップ排雪)	申請延長2,522kmのうち <u>21%</u>

※ 雪害の影響によるバス（北海道中央バス、JR北海道バス）の全区間運休および、小中学校等の臨時休校はありません。

一般利用が可能な雪堆積場（2月17日現在）

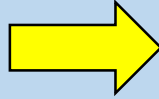
当初の受入容量	約1,600万 m^3 （30箇所）
現在の使用状況	約1,084万 m^3 （満杯で14箇所閉鎖）
受入容量の増量	河川敷地（国管理）  <u>拡張1箇所</u>
	民有地  <u>関係者と調整中</u>

札幌市専用の雪堆積場（2月17日現在）

当初の受入容量	約1,000万 m^3 （45箇所）
現在の使用状況	約490万 m^3
受入容量の増量	河川敷地（国管理）  <u>拡張6箇所</u>
	河川敷地（北海道管理）  <u>拡張6箇所</u>
	民有地  <u>新規1箇所</u>

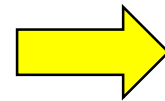
応援体制（2月17日現在）

国からの支援
（北海道開発局）



- ダンプトラック10台
※2月12日から作業を実施
2月21日から更に8台追加
- 国道雪堆積場を札幌市の
排雪作業で利用可能に（3箇所）

災害防止協力会の会員に、
除排雪作業の応援依頼



29社が協力を表明